**演習０３（Step03マクロの正体とその編集）**

演習

1. ファイルEx03.xlsmを開き、Macro１を実行してみましょう。Macro1は、アクティブセルに太字と斜体の設定をするマクロです。
2. Macro１を以下のように編集し、アクティブセルの太字と斜体の設定を解除するマクロの修正してみましょう。

Selection.Font.Bold = False

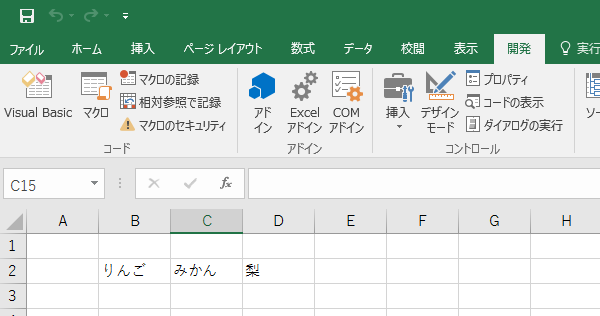
Selection.Font.Italic = False

1. Excelに戻り、アクティブセルを操作対象セルに移してから修正したマクロを実行してみましょう。

**演習０３（Step03マクロの正体とその編集）ヒント**

**（１）VBEの起動**

「開発」タブにある「コード」の「VisualBasic」を選択し、VBEを起動します。



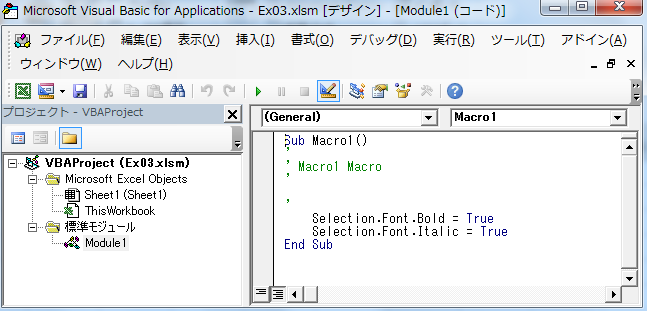
②

①

**（２）マクロの修正**

コードウィンドウに表示されているコードを書き換えます。

コードウィンドウにMacro1が表示されていない場合には、プロジェクトエクスプローラウィンドウの標準モジュールの「Module1」を選択します。



選択してコードを表示

書き換える

・修正が終わったら、「ファイル」メニューの「MicroSoftExcelに戻る」でVBEを終了します。

**（３）保存とテスト**

Excelに戻り、上書き保存をしてから、マクロを実行してみましょう。

・アクティブセルをイタリックの太字になっている「***りんご***　」のB2に移動します。

・「開発」タブにある「コード」の「マクロ」で表示されるダイアログで「Macro1」の「実行」ボタンをクリックします。

「***りんご***　」のイタリックの太字が解除され、標準に戻ることを確認します。

・以上をセルC2、D2についても実行してみましょう。